

	年度当初	9月末時点	2月末時点
貸出冊数	<p><目 標></p> <ul style="list-style-type: none"> 年間1人当たりの貸出冊数40冊以上 	<p><現 状></p> <ul style="list-style-type: none"> 1人当たりの貸出冊数28冊(9月末時点) 	<p><結 果></p> <ul style="list-style-type: none"> 年間1人当たりの貸出冊数46冊
	<p><取 組></p> <ul style="list-style-type: none"> 年間2回の読書月間を設定する。 図書委員会によるおすすめ図書の紹介や図書ビンゴ等のイベントを計画的に実施する。 読書記録表に清瀬の100冊等のテーマ別リストや読書すごろくを添付し、活用する。 	<p><取組状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 6月に読書月間を実施し、図書委員会の児童による読み聞かせや「読書がんばり賞」などのイベントを行った。 全学年で読書記録を活用し、児童一人一人が年間の読書目標を立てて意欲的に取り組んでいる。 	<p><成 果></p> <ul style="list-style-type: none"> 読書月間や図書委員会の取組により、児童の読書意欲と学校図書館利用が高まった。 読書記録表の活用により、児童が多様なジャンルの本に触れる機会が増えた。 <p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> 図書委員会の活動を充実させるために、児童の主体性を育てる指導体制の強化が必要。
地域開放	<p><目 標></p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域の方への開放機会の計画・実施 	<p><現 状></p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域の方による選書の場としての活用はできたが、開放はできなかった。 	<p><結 果></p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域の方による選書の場としての活用はできたが、開放はできなかった。
	<p><取 組></p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域の方による朝の読み聞かせ(年間26回予定)の選書のために図書館を開放する 図書ボランティアのための時間枠(毎週水曜3・4校時)を確保する 学校行事(学校公開等)時に学校図書館を開放し、保護者も利用できるようにする 	<p><取組状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の読み聞かせは計画どおりに実施し、9月末時点で11回行った。 各学年では、様々な方に読み聞かせをしてもらうことで、多様なジャンルやテーマの本に親しむことができている。 図書ボランティアの活動は行っていない。 	<p><成 果></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館を読み聞かせのための選書の場として活用したことで、活動の質が向上した。 <p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の担い手が固定化しており、新たな参加者を増やす工夫が必要。 学校行事以外でも保護者や地域の関わりを広げ、開かれた学校図書館にしていくこと。
公立図書館との連携	<p><目 標></p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級年間10回以上の団体貸出の実施 「宅配サービス」の活用方法を全校児童・職員への周知の徹底 	<p><現 状></p> <ul style="list-style-type: none"> 9月末時点で、各学級が4~7回の団体貸出を実施した。 	<p><結 果></p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級による団体貸出や「おうち図書館」の利用は定着した。 各学級が7~12回の団体貸出を実施した。
	<p><取 組></p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級で団体貸出を毎月申請し、学級文庫を充実させ、常に本がある環境をつくる。 団体貸出、宅配サービスの利用方法の職員への周知、利用状況の把握と啓発を行う 	<p><取組状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出図書の選書は各教科と関連づけて行い、並行読書にも活用している。 団体貸出や宅配サービスの利用方法について職員への周知を行った。 	<p><成 果></p> <ul style="list-style-type: none"> 団体貸出の活用により、学級文庫が充実し、児童が日常的に本に親しむ環境が整った。 団体貸出やおうち図書館利用が定着した。 <p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> 宅配サービスのさらなる利用を促し、家庭での読書習慣づくりにつなげるようにする。